

# かたばみ

(酒井 忠明 書)

Vol. 88

2022 春号

発行 社会福祉法人  
かたばみ会  
発行責任者 事務局長 佐藤弥生  
発行日 令和4年 4月 10日

## Contents

- 新年度のご挨拶
- かたばみ会のエッセンシャルワーカー
- ICTはじめました



### かたばみ荘

- ・特別養護老人ホーム
- ・ショートステイサービス
- ・デイサービスセンター
- ・在宅介護支援センター

〒998-0015  
山形県酒田市北千日堂前字松境18番1

[TEL]0234(35)1451  
[FAX]0234(35)1452  
支援センター直通  
[TEL]0234(35)1407

〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘2丁目3-19  
[TEL]0234(35)1453  
[FAX]0234(35)1454



### かたばみの家

- ・養護老人ホーム
- ・特定施設

〒998-0015  
山形県酒田市北千日堂前字松境16番  
[TEL]0234(35)1471  
[FAX]0234(35)1472

かたばみ会 酒田市 検索

初めてに、地域の皆様や各関係機関のご理解とご協力のもと大過なく令和四年度を迎えること、心より感謝申し上げます。かたばみの家は開所十三年目を迎えました。これまで一日も欠かさず続けてるのは、入所者と支援員が毎朝一緒に、かたばみの歌を歌いラジオ体操をすることです。集会室で開かれたことで互いの健康を確認し、穏やかに朝を迎えることができたとほっとするひと時となっています。このような互いへの思いやりは、例えば、食堂など共用部分の掃除は九十歳を超えて引退する方に代わり、次の年代の方が役割を受け継ぐという支えあいにつながっています。

さて、かたばみの家は松陵学区コミュニティ防災センターで行われる、地域の子供さんの居場所づくりにお説明を受け、実現に向けて事務局と相談を進めているところです。地域の方と世代を超えた交流ができることがあります。このことを、かたばみの家の入所者は喜び楽しみにしておりま

つきましては各関係機関並びに地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日頃よりかたばみ荘の運営や活動につきまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、二〇二〇年から始まったコロナ禍により、私たちの生活は一変しました。人との関わりを制限され、親や親戚、友人などに会うのにも気を遣うこの現状に、いつまで続くのかと出口の見えぬまま、利用者の健康を守るために「あと少し」と自分たちに言い聞かせ、ご家族の皆様にも面会の制限など、ご協力をいただき、共に様々な我慢を続けてまいりました。まだまだ厳しい状況に変わりはありませんが、このような厳しい状況だからこそ、家族との関わりの大切さを実感し、人と人とのつながり、地域とのつながりの必要性を再認識いたしております。今年こそはコロナウイルスに打ち勝つて、気兼ねすることなく人と会える世の中になつてもらいたいと心から祈りつつ、地域とのつながりを大切にし、親しみを持っていただけの施設を目指し、職員一丸となって取り組んでまいる所存ですので、皆様にはより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム かたばみ荘  
施設長 五十嵐 重明

## 新年度のご挨拶

令和3年3月1日～令和4年2月28日

### ご寄贈・ご寄付

(順不同)

#### ご寄贈

高橋 春記 様	高橋 悅子 様
小山 ひさ子 様	伊東 順子 様
千葉 多満子 様	加藤 三郎 様
本間 美砂 様	堀 真徳 様
阿部 喜美子 様	粕谷 勝子 様

阿蘇食品株式会社 様
北谷 啓一 様
齋藤 豊 様
花王株式会社 様
庄内柿を守る会 様

#### ご寄付

加藤 弘良 様
小山 芳子 様
佐藤 周一 様
斎藤 豊子 様
莊内エネルギー株式会社 様



コロナ禍で職員の集合研修は、やりたくても、なかなか難しいのが現状です。

そんな中、職員の工夫で、業務の隙間時間を利用し、主に介護技術のミニ勉強会をほぼ毎日、少人数で行っています。

### 職員ミニ勉強会

コロナウイルス3回目ワクチン接種  
かたばみ会の入所者及び職員の3回目のワクチン接種は、2月初旬から中旬にかけ、ほぼ全員が終了いたしました。



施設内の発生を防止するため、出来ることは、今後も嘱託医と連携し、素早く対応してまいります。

ちょこっと

## 伝言板

### 後編集

「エッセンシャルワーカー」という言葉をご存じでしょうか。コロナ禍の中、注目されるようになった「社会生活を支える上で、不可欠な職業」のことです。「介護」もその職業のひとつで、私たち職員は、そのような価値ある仕事をしているという、自尊心を持たなければと常々思います。

しかし、私達の仕事は一人の力では何もできず、一緒に働く仲間が必要です。社会にとっての不可欠な職業も、私達にとっては共に働く仲間こそ、最も大切な「エッセンシャルワーカー」であること忘れてはいけないと感じます。

「自尊心」を持つことは、相手を「尊敬」できることで、結果、私たちの使命である「利用者の尊厳を守る」ことに直結することだと思います。

春を待ちわびて

# 事業所トピックス

## 特別養護老人ホーム・ショートステイサービス



### お雛様 甘酒作り

花より団子…。コロナ禍の雛祭りに、美味しい花を添えました。



### 節分 豆まき

今年はたくましい?だけど、とても親しみやすい鬼たちが活躍しました。



## デイサービスセンター



みんなで作ったお雛様記念撮影ボードでパシャ!



暖かい日は、中庭に出て、外気浴で健康づくり。



美味しいそう~。

## 多機能施設 お正月 餅つき



ヨイショ~! の掛け声と共に、寒さを吹き飛ばして、温かいお雛煮をみんなで食べました。



## 養護老人ホーム お雛様 茶話会



お抹茶を頂きながら、春を感じる時間を過ごしました。



## かたばみ会の エッセンシャルワーカー

Q. 今の仕事のやりがいは何ですか。

A. 短時間ではありますが、今は食事介助や洗濯物仕分けと配布、入浴準備などを行っています。利用者が自分の介助で笑顔になってくれるのが嬉しいです。

Q. 何か趣味や特技はありますか。

A. 酒田には立派な能楽堂があって、3年前から仕舞を、また鶴岡で剣仕舞を仲間と楽しみながらお稽古しています。早くコロナの心配がなくなり、沢山お稽古できるようになることを祈っています。

Q. 今後の抱負をお聞かせください。

A. あと何年働けるかわかりませんが、身体を動かして楽しく仕事ができ、その上お給料がもらえるだけで感謝です。これからもよろしくお願いします。

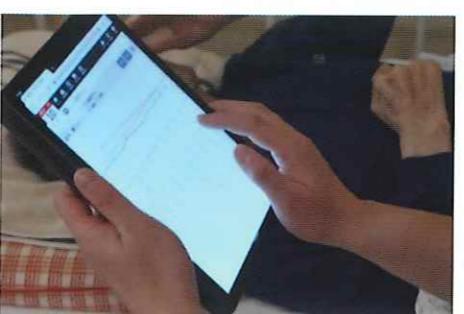
平成20年7月の入職以来、65歳の定年後も長くかたばみ会に尽力していただいて、75歳になった今も現役の熊谷さん。文字通り、かたばみ会には欠かせない私達の「エッセンシャルワーカー」です。



特別養護老人ホーム  
パートケアワーカー  
熊谷 良美 さん

## ICT始めました

かたばみ会では、山形県ICT導入支援事業費補助金を利用して、令和4年2月下旬より、介護記録ソフトのタブレットを各事業所へ導入しました。タブレットの導入により、記録業務の大幅な短縮や職員やご家族とのスムーズな情報共有が可能となり、その結果、サービスの質の向上への期待も見込まれます。



測定した体温や脈拍、血圧などは、その場で入力し、前回の数値と比較もすぐにできます。



カンファレンス等の話し合いの場で、参加者同士の情報の共有ができます。

**ICT**って何?  
ICT(情報通信技術)  
は通信技術を活用したコミュニケーション手法のことで、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。

訪問先での記録入力  
なります。